

(仮称) 月寒小学校改築ほか工事に係る建築設計

選定理由及び総評

本プロポーザルは、札幌市都市局建築部が発注する工事に係る設計業務を委託する者の選定にあたり、創造性、技術力、経験などを適正に審査の上、その業務の内容に最も適した設計者を選定することを目的として実施しました。技術提案書の審査については、以下を「求める提案項目」とし、的確性、独創性、実現性等を考慮して総合的に評価しています。

- (1) 快適な学習空間の創出及び効率的な施設運営を実現するための建築計画について
- (2) 北側隣地への影響（日影、騒音、臭気等）に配慮した建物形態・配置の考え方について
- (3) 将来の機能拡充・用途転用・設備更新の容易性など、長寿命化への対応について
- (4) 建築的手法による環境負荷低減の考え方について
- (5) その他独自提案について(当該業務を実施するに当たり重要と考えられる視点等)

1 選定理由

【選定者】株式会社石本建築事務所札幌オフィス

北側隣地に対する日影や臭気・騒音に加え、隣地建物の住環境といった多角的な環境配慮と、図書館や児童会館等の連携や回遊動線を活かした多様な学習空間の創出が図られているとともに、地域の歴史継承を考慮した提案や、連続した庇・堆雪スペースといった積雪寒冷地での的確な空間構成など、細やかな配慮がなされた計画となっていることが高く評価された。

【次点者】株式会社アトリエアク

諸室の明快なゾーニングや図書室と多目的室を連携させた多様な学習空間の創出への配慮とともに、地中梁の縮小化による配管配線ルートの確保や外皮面積の抑制等による環境配慮、地域の歴史継承を考慮した提案が評価されたが、選定者には及ばなかった。

2 総評

選定者及び次点者が評価されたポイントを含め、全提案を通じた傾向等を示した総評は以下のとおりです。

【敷地特性を活かした配置計画と建替工事による学校運営への影響】

建替計画について、一期工事で新校舎への移行を可能とし、工事中におけるグラウンドの利用制限や児童会館の休止期間を最小限に抑えるなど、学校運営への影響に配慮した計画が評価されました。また、耐震壁の配置、モジュールの単純化、諸室の的確な配置により将来の用途転用や可変性を確保した提案や、地中梁の縮小化による配管配線ルートの確保など、更新のしやすさに配慮した計画が支持されました。一方で、建て替え後のグラウ

ンドの面積が大幅に圧縮された計画や、3階建てで計画が可能な敷地条件において4階建てを選択する合理性が十分に示されていない計画、増築スペースの位置についての検討が不足している計画について懸念が示されました。加えて、幅員の狭い北東側道路に昇降口を配置する計画については、児童の安全性に対する配慮が不足しているといった意見がありました。

【学習空間の「具体性」と「機能的連携」】

外部利用も考慮した図書館・児童会館・屋内運動場・多目的室等と昇降口との関係性が優れ、機能的な連携が図られた計画が評価されました。また、図書室と多目的室を連携させた多様な学習空間の創出や、光庭・吹抜けに面した異学年交流スペースと回遊動線を組み合わせることで、活用の幅が広い空間を創出する提案も支持されました。加えて、音楽室と屋内運動場ステージを連携させて施設活用の相乗効果を高めるアイデアも支持された一方で、屋内運動場や音楽室の単独利用時における学習環境への配慮について懸念が示されたほか、児童会館や図書室を2階に配置したことによる動線・セキュリティ上の配慮が不足しているといった意見がありました。

【周辺環境への配慮・歴史の継承】

北側隣地に対してセットバックやひな壇状とするだけでなく、日照確保の観点や給食室の臭気対策、隣接地建物の居住性（採光・視線・騒音等）など、きめ細やかな配慮が行き届いた計画が評価されました。また、適切な堆雪スペースの配置など冬期の維持管理に配慮した計画や、月寒神社等とのつながり、旧正門の活用など、地域の歴史・文化を継承する提案も支持されました。一方で、長いアプローチによる除雪負担の増加や車両と通学動線の交錯、バス待機スペースの検討不足など、日常の安全性や管理コストへの配慮が不足しているといった意見がありました。

【社会課題を見据えた実施体制とコスト管理・環境配慮】

近年の建設コスト高騰や人手不足に対し、省力化工法の検討や市場調査を含めた入札不調対策など、課題解決に向けた具体的な検討の視点が評価されました。また、設計チームに設備・外構を専門としたスタッフを加えた体制や、設計・施工段階での児童参加を通じた担い手育成、教員の働き方改革といった社会課題に寄り添う姿勢も支持されました。環境配慮の面では、外皮面積を抑えたコンパクトな形状により熱負荷を低減する堅実な手法が評価されました。一方で、コストが増大する構造計画や、環境負荷低減について導入コストに見合う効果が見極められていない提案については、さらなる精査が必要であるといった意見がありました。